

第79回理事会・第12回加盟団体代表委員総会開催される

【総務委員長 内山政則】

一般財団法人長野県バレーボール協会の第79回理事会が、3月11日(土)の午前10時よりたつのパークホテルにて開催され、平成29年度事業計画(案)、同収支予算(案)が慎重に審議された上で可決されました。



引き続き午後1時30分から、第12回加盟団体代表委員総会が同ホテルで開かれ、平成29年度事業計画並びに同収支予算の報告がなされました。

船木会長からは、日頃の協会事業へのご支援ご協力への感謝の言葉が述べられました。同時に国体での活躍、Vチャレンジでの県関係チームの好成績等、地

域に根ざしたバレーボールが盛り上げることが、2020年東京オリンピックに於けるバレーボール競技の輝きに繋がるというお話がありました。

更に平成29年度は本協会創立70周年となり、節目としても協会の飛躍が期待されるので、関係者の一層のご支援をお願いしたい旨のご挨拶がありました。

平成29年度 運営基本方針

2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催都市に東京が決まりましたが、まだまだ多くの問題が未解決のままであります、バレーボール関係者としては4つのメダル獲得に向け日本中が一丸となって盛り上げていき、これを契機にバレーボールの人気も高まることを期待するところです。

現在、日本体育協会、JVA共に倫理・コンプライアンスに対する取り組みの強化を推進する中、協会としても各種ハラスメント、薬物乱用、違法賭博等の反社会的行為、反社会的勢力とかかわることを根絶することに向け努力してまいります。



昨年度よりVリーグ参戦が2チームとなり結果は、VC長野トライデンツがチャレンジIで3位、長野GaRonsがチャレンジIIで4位と素晴らしい成績でありました。ホームゲーム開催には、開催地協会、チームともにご苦労頂き事故、トラブル等がなく終了できました。今年度開催する、Vリーグ関連のホーム

ゲームをはじめとする各大会、全日本9人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会、北信越中学校大会をはじめとする北信越関連大会、各種県大会を昨年同様協会員各位の協力により成功裏でおさめ、健全財政確保に努めてまいります。

国民体育大会において、第71回いわて国体は少年男子3位と奮闘していただき、30点を獲得しました。今年度も少年男女・成年男女共に最強チームを結成し、第72回愛媛国体での天皇杯得点獲得目標37.5点を達成します。

当協会は、1947年創立以来今年で70周年を迎えます。記念事業を計画・実施するとともに一般財団法人として内外に認められる運営に努めます。

重 点 事 業

1. 強 化

4 種別とも北信越を突破し、第 72 回愛媛国体において天皇杯得点 37.5 点を獲得する。

(1) 成 年 : これまでどおり、県内有力チーム・選手をベースに有力な「ふるさと選手」を補強して臨み総力をあげて本国体出場と天皇杯得点の獲得を目指す。

(2) 少 年 : インターハイ県予選優勝チームを核に上位チームより有力選手を補強して臨み、男女ともに 最強チームで本国体上位入賞を目指す。また、併せて若手トップ指導者の育成を図る。

(3) ジュニア強化: 強化、指導普及、小中高指導者が更に連携を強化して、人材の発掘・育成活動を行い一貫指導体制の充実を図る。

2. Vリーグ大会・全国大会の成功

Vリーグホームゲーム、全日本 9 人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会を成功させ今後のビッグ大会の開催に向け N V A の強化を図る。

3. 競技人口拡大

小中学生の競技人口はメディアによる影響を大きく受け、一昨年度、昨年度と一旦歯止めがかかったが、アニメの影響が薄くなった現在厳しい状況が予想される。解決策として、県内メディアにバレーボールが取り上げられるように働きかけ、「13 地区対抗選手権大会」に関わる各加盟団体と情報交換を綿密に行うことにより、新規部員・クラブ員の獲得方法の定着を図り、中学高校大学一般と競技を継続できるための指導者連携の在り方を研究する。

第7回全国6人制バレーボール総合男女優勝大会 女子決勝リーグ長野大会

地元セイコーエプソン(女子)は1勝2敗で終える

【塩尻木曽協会理事長 村上公彦】

去る 2 月 25 日(土)と 26 日(日)の 2 日間、塩尻市立体育館で標記大会の第 1 節が行われました。この大会は日本バレーボール協会主催の下、実連・クラブ連・学連の 3 者で実行委員会を組織して運営している大会です。本県から出場のセイコーエプソンは、ほとんどが県内の高校を卒業した選手であり、日中は同社塩尻事業所で業務を行った後に練習を積み、土・日曜日に行われる本大会に参加しています。本大会の開催に当たり、エプソンの選手やスタッフ、地元塩尻木曽バレーボール協会の、前日からの準備や最後の片付けまでの苦労を知ってか、連日 200 人を超える観客の皆さんに集まって頂き、熱心に応援をして下さいました。



結果は、初日の福井クラブに 0-3、最終日の三菱東京 U F J に 0-3 と敗れたものの、初日の第 2 試合では、栄クラブに 0-2 とリードを許し、追い込まれたエプソンが、第 3・4・5 セットを連取して今大会初勝利を収めました。平均年齢 20 才位の若いチームにとっては大きな収穫となりました。しかし、上位進出に当たっては大きな課題も残すこととなりました。

地元協会と致しましては、苦しい環境の中で長野県のバレーボールの発展に寄与してくれているセイコーエプソンの益々の活躍を期待すると共に、より多くの皆様のご支援を頂ければと心より願っております。尚、第 2 節は 3 月 4 日(土)～5 日(日)に東京にて開催されました。

2016/17 V.LEAGUE AWARD 開催

【専務理事 竹淵光雄】

3月24日（金）、東京都中央区日本橋ロイヤルパークホテルでVリーグのシーズン年間表彰式となる「2016/17 V. LEAGUE AWARD」が開催され、船木会長と専務理事の竹淵が招待されました。

年間表彰の後、女子：3月25日（土）・男子：26日（日）に開催されるオールスターゲームのチーム分け抽選が行われました。

V・プレミアリーグ男子「Team ふっかちゃん」の選手として傳田亮太選手（豊田合成トレフェルサ＝芋井中学・創造学園高校出身）が、「Team ブイリー」の方はキャプテンとして越川 優選手（JTサンダース＝岡谷工業高校出身）の他に松本慶彦選手（堺ブレイザーズ＝戸隠中学・岡谷工業高校出身）と浅野博亮選手（ジェイテクト STINGS＝三郷中学・長野日大高校出身）が選出されました。



V・チャレンジリーグ男子の方は、「Team ふっかちゃん」のコーチとしてVC長野トライデンツの笹川星哉監督（伊那東部中学・東海大諏訪高校出身）が選ばれ、選手としてはVC長野トライデンツの森崎健史・栗木 勇（下伊那松川中学・創造学園高校出身）・小林哲也（長野日大高校出身）の3選手が選出されました。一方「Team ブイリー」には、選手としてVC長野トライデンツのアレキサンダー・オソキン・峰尾 拓、長野 GaRons の藤井啓太の3選手が選ばれました。



男子に比べ、本県関係者の印象が薄い女子ですが、V・チャレンジリーグ「Team ブイリー」の監督としてデンソーエアリービーズの山口祐之監督（長野東部中学・岡谷工業高校出身）が、リベロとして山田美花選手（裾花中学出身）が選出されました。又、「Team ふっかちゃん」の方では、選手として青柳京古選手（上尾メディックス＝信濃小中学・長野日大高校出身）と山岸あかね選手（上尾メディックス＝裾花中学・東海大諏訪高校出身）が選ばれました。

これらのスタッフ・選手は、埼玉県深谷市／深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）で開催されたオールスター戦に参加しました。

尚、年間表彰者の当県関係者では、今季でVリーグを去る越川 優選手には功労賞が授与され、ベスト6に傳田亮太選手が選出されました。



女子の裾花中は雪辱を果たすも男子は又もやベスト4に残れず

【総務副委員長：木下久資】

3月18日（土）～19日（日）、各県男女上位4チーム、男女計40チームを集めて標記大会が石川県加賀市・小松市で開催されました。この大会は、昨年度迄はモルテンとミカサの協賛で行われていましたが、今年から菅公学生服杯にも協賛を頂き、名前を変えての開催となりました。



女子は、1位：長野市立裾花中学校・2位：辰野町立辰野中学校・3位：上田市立塩田中学校・4位：塩尻市立塩尻中学校の4チームが出場しました。

この内、辰野中と塩尻中は何れも富山県の2位・3位チームに初戦で敗れ、初日で姿を消しました。又、新潟県2位の新潟市立潟東中学校に勝って2日目の準々決勝に臨んだ塩田中も、福井県4位の福井工業大学附属福井中学校に第1セット後半からサーブで崩され、自分達の力を発揮出来ずに涙を吞みました。

さて、長野県勢最後の砦となった裾花中ですが、得意の速攻コンビバレーが冴え、各県1位チームが次々と敗退する中で独り決勝戦に駒を進めました。相手は、過去5年間で4回も決勝に進出している福井中でした。1セット目こそ、サーブで崩しつつ速い攻撃で相手ブロックを寸断して21点で取りましたが、第2セットに入ると、逆にサーブで崩されて福井中ペース。サーブで崩せないと福井中に容易くアタックを決められ、一時は19-19と追い付いたものの、最後はスパイクミスが出た後、又もやサーブで崩され、23点でこのセットを落としてしまいました。最終セットも出だしは相手ペース。ブロックでプレッシャーを掛けられて1-4となりましたが、漸くここから再びサーブが当たり出してペースを取り戻しました。逆転して13-10でチェンジコートした後は、気落ちした相手にミスが目立ち始め、そこにサービスエースを絡めてアッという間に23-11で勝負あり。昨年の準々決勝敗退の雪辱を果たすと共に、9度目の優勝を飾りました。



一方男子は、1位：小布施町立小布施中学校・2位：立科町立立科中学校・3位：長野市立広徳中学校・4位：伊那市立春富中学校が出場しました。

この内、小布施中と広徳中は何れも福井県の4位・1位チームに初戦で敗れ、春富中も石川県3位の白山市立光野中学校をフルセットで下して一回戦を突破したものの、富山県1位の砺波市立庄川中学校に敗れて初日で姿を消しました。富山県2

位の南砺市立平中学校に勝って2日目に進出した立科中は準々決勝で石川県1位の金沢市立兼六中学校と対戦。180センチ台のエース2枚の高さに屈し、結局今年も3位以内に入ったチームは1つも無しという結果に終わりました。

今年の夏には、長野県で北信越大会が開催されます。低迷期に入ってしまった男子、最近は毎年何とかしなければという思いだけが残ります。奮起を期待したいと思います。

男子は大町クラブが4連覇 OKAYAも2位に 女子は入賞を逃す

【クラブ連盟理事長 竹内 稔】

3月11日（土）・12日（日）、モルテン杯第11回北信越クラブバレーボール9人制選手権大会が男子12チーム、女子10チームの参加で、石川県金沢市いしかわ総合スポーツセンターにて開催されました。



男子 決勝戦 大町クラブ vs OKAYA

本大会は、北信越5県の代表チームと前年度優勝チームが参加して、平成28年度の北信越ブロック9人制クラブチームチャンピオンを争う大会です。長野県からは、男子は前年度優勝の「大町クラブ（大町市）」、「OKAYA（岡谷市）」、「駒ヶ根クラブ（駒ヶ根市）」が、女子は「大町クラブ（大町市）」、「六文銭（上田市）」、「Through（飯田市）」が参加しました。

大会第1日はブロック別の予選グループ戦で順位を決定。2日目は、順位グループによるトーナメント戦が行われました。

県勢男子では大町クラブとOKAYAが1位グループトーナメントに進出。準決勝戦を共に勝上がり、決勝戦は長野県チーム同士の戦いとなりました。第1セットは大町クラブのミスが重なり、終始OKAYAがリードして先取しましたが、第2・第3セットは地力に勝る大町クラブが奪取して優勝。4連覇を果たしました。

尚、女子は大町クラブが1位グループトーナメントに進出したものの準決勝で敗れ、入賞はなりませんでした。

第1回ソフトバレー・フリーフェスティバル

長野県から出場の「翔舞」が全勝で優勝を飾る

【ソフト連盟理事長 中山芳一】

第1回ソフトバレー・フリーフェスティバルの全国大会が3月4日（金）～6日（日）、東京町田市において開催されました。



長野県からは、翔舞とVALSの2チームが出場しました。

翔舞は、1日目の予選（Aコート）5チームの総当たり戦を全勝で突破、Bコートの1位と対戦してこれにも勝利して、Aコート・Bコートの1位になりました。

2日目は、1位グループ4チームの総当たり戦が行われました。翔舞は、これも全勝で乗り切り、1位グループの1位となって優勝を果たしました。

男子は攻守バランスの良さで上伊那が 女子は総合力で松本が優勝！

【指導普及委員長 城倉 淳】

3月20日（月）の春分の日、辰野町民体育館・辰野西小学校体育館の両会場を使って標記大会を開催しました。JVAゴールドプランを受け、若年層競技人口拡大と13地区協会の人材確保を目的として、平成24年度にスタートしたこの大会も今年で5回目となりました。



男子優勝の上伊那チーム

女子はサーブ力、レシーブ力、攻撃力など、総合力で上回った松本が優勝しました。

年ごとに盛り上がりを見せている大会ですが課題も多くあります。地区協会の皆様から寄せられる意見を参考にきて来年度以降もバレーボール人口拡大へ向けて努力していきたいと思ひます。

今年度は使用できるコート数が限られてしまったため、各地区1チームという出場制限となり、多くの選手を出場させたいと準備していただいていた13地区関係者の皆様には御迷惑をおかけしました。結局、男子6チーム、女子7チーム、計13チームの参加となりました。

男子は攻守にバランスの取れた上伊那が優勝。準優勝になったちくまの粘り強いレシーブも印象に残りました。



女子優勝の松本チーム

第11回長野米カッ 長野県小学生バレーボール大会

男女共フルセットの激闘を制して小布施スポーツ少年団が優勝

【総務副委員長 木下久資】

第11回長野米カップ県大会が3月5日（日）、長野市のホワイトリングで開催されました。この大会は、小学生の新人大会に相当するもので、小学校5年生以下の選手でチームが構成されています。

男子は県内8ブロックの代表8チーム（各ブロック1位）が、県下44チームの代表として出場しました。決勝戦は、北信東ブロック1位の小布施スポーツ少年団（以下「小布施」）と北信西ブロック1位の広徳ジュニア（以下「広徳」）の対戦となりました。好サーブで第1セットを取り、2セット目の序盤もリードした小布施ですが、広徳もサウスポーエース：山口を中心に反撃。終盤迄シーソーゲームとなりましたが、2度のマッチポイントを凌いだ広徳が25-23でこのセットを取り返して、勝負は第3セットに連れ込みました。その序盤も小布施ペース。8-4でチェンジコートの後、追いすがる広徳に対してトスを散らし、ライトやレフトからスパイクを決めて3年振り3回目の優勝を決めました。

一方の女子は、県内8ブロックの代表16チーム（各ブロックの1位・2位）が、県下92チームの代表として出場しました。決勝は、戸狩（北信東ブロック1位）と小布施（北信東ブロック2位）という同ブロック同士の対戦となりました。双方強力なサーブで相手を崩しつつ、戸狩は清水、小布施は鈴木というエースを軸とした攻撃で、こちらも勝負はファイナルセットに連れ込みました。序盤は小布施が6-0と走りましたが、戸狩も徐々に差を詰め、終盤には12-13と逆転。しかし、ここで小布施

が粘って再逆転。最後はサービスエースでブロック大会の雪辱を果たすと同時に、5回目の優勝を連覇で達成しました。以下、優勝チーム代表者の寄稿を掲載致します。

「第11回長野米カップ長野県小学生大会の感想」



【小布施スポーツ少年団主将 福沢隼平】

新チームになって、まずはこの大会で優勝することを目指してきました。大会当日の朝も、みんなと「絶対に勝とうね」と話していました。だから優勝が決まった時は、本当にうれしかったです。

どの試合も接戦で、簡単に勝てた試合はありませんでした。特に決勝戦はフルセットになり、ギリギリの勝利でした。正直に言うと、もうだめなんじゃないかと弱気になった瞬間もあったけど、全員で声をかけ合ってがんばりました。応援してくれるみんなの声もぼく達の力になりました。

一本一本をあきらめないでボールをつないだ結果が、優勝という形になったと思います。

なんとか優勝はしたけれど、試合の内容はあまりよくなくて、単純なミスをとくさんしてしまいました。大事な場面でのサーブミス、サーブカットミス、お見合いなどです。こういうミスを少なくしなければならいし、もっと攻撃力をつけて、もっとサーブもレシーブもブロックも上手になって、「長野米カップで優勝したチームは、やっぱり強いなあ」と思ってもらえるチームになれるように、これからも毎日の練習をがんばっていききたいです。

「第11回長野米カップを終えて」



【小布施スポーツ少年団女子コーチ 土屋正史】

昨年の11月から新チームになり、新人戦となる長野米カップ県大会を2年連続優勝と3年振りの小布施男女アベック優勝で飾ることが出来ました。

大会を振り返ると、このチームの県内デビュー戦ということで緊張と不安が選手にはあったと思います。試合をするにつれて、少しずつ普段のようなバレーが出来てきました。しかし、簡単な失点や、失点にならなくても凡ミスが多く見えました。決勝戦の戸狩戦もサーブミスやサーブカットミスが続き、1セット目を落としました。2セット以降は、ミスがありつつもレシーブに粘りが出て、エースにボールを何とか繋いで攻撃出来ました。3セット目はサーブで攻めることができました。最後の15点目もサービスエースでした。

ブロック大会の敗戦以降、サーブとサーブカットを見直し、強化をしてきました。ミスが目立ったものの、その成果が出たと思います。

ブロック大会の敗戦以降、サーブとサーブカットを見直し、強化をしてきました。ミスが目立ったものの、その成果が出たと思います。

しかし夏に向けて、大きな反省点を残しました。この反省を、今後の練習にしっかりと生かし、更なるレベルアップをしていきたいと思っています。

この大会の準備から当日の運営まで、長野県小連の役員や開催地の北信西支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

私たちは、3月末に福井県で開催される第14回スポーツ少年団全国大会に出場します。夏の全国大会ベスト8敗退の悔しさをぶつけ、この大会の3連覇を目指して頑張ってきます。

齋藤信明副会長が県スポーツ振興功績者有功章を受章

【専務理事 竹淵光雄】

平成28年度長野県スポーツ振興功績者表彰及び国民体育大会等における優勝者の表彰式が3月23日（木）、午後1時から県庁講堂で行われました。



阿部守一長野県知事から「スポーツ通じて長野県を元気にしていきたい」という挨拶があった後、永年にわたり県協会役員並びに長水バレー協会役員として活躍された齋藤信明副会長が有功章（個人の部）で表彰されました。また県全体では、有功章（個人の部）19名、有功章（団体の部）6名、栄光章3名、勲功章1名、合計29名の方が表彰されました。

バレーボール関係では、中体連推薦の宮野内光明氏（前指導普及委員長）と原村体育協会女子バレーボール部が表彰されました。

平成 28 年度公益財団法人長野県体育協会臨時評議員会が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

平成28年度公益財団法人長野県体育協会臨時評議員会が、3月10日（金）午後4時より長野市長野県スポーツ会館2Fで開催されました。



評議員会長から第72回ながの銀嶺国体育の結果について、素晴らしいスタートとなったとの報告並びに御挨拶があり、6項目の報告事項、1議案が提案・可決されました。

その他の報告事項の中では、第82回国体開催に向けてのスケジュール、進捗状況が報告されました。当協会と致しましても、今後の開催市町村の選考についての準備を、今から検討をお願いしたいと存じます。

平成 28 年度第2回正副会長、専務・常務理事、委員長会議開催される

【総務委員長 内山政則】

標記会議が3月4日（土）10:00から、松本市総合体育館会議室にて開催されました。



冒頭会長からは、日頃の活動に対する労いの言葉を頂くと共に、国体での得点確保やオリンピックに対する私見等が述べられ、更なる尽力をとの御挨拶がありました。

会議では、一週間後に開催される理事会・加盟団体代表委員総会に向けて提出される資料や今年度の反省等について、それぞれの立場で協議しました。

平成 28 年度 全国競技委員長研修会が開催される

【競技委員長 坂田秀男】

公益財団法人日本バレーボール協会(J V A)主催の「平成28年度全国競技委員長研修会」が3月4日(土)・5日(日)、東京に於いて開催されました。

研修会冒頭、J V A国内事業本部基本方針が次のとおり発表されました。

- (1) 6人制：「天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会」を6人制競技会の頂点として位置づけ、都道府県協会との連携を図り、より魅力のある「日本一の大会」とする。
- (2) 9人制：「全日本総合選手権大会」をトップの大会として位置付け、9人制バレーボールの発展と9人制競技人口の拡大を図る。
- (3) 生涯バレー：各種ソフトバレーボール大会、ヴィンテージ8's大会を通して、生涯スポーツとしてのバレーボールの普及・発展を図る。
- (4) ビーチバレー：各都道府県協会との連携を強化し、大会の活性化と成功に向けて取り組む。

その後の研修会では、近年バレーボール用品での事故が多発していることを受け、メーカーによる事故事例を含むメンテナンス講習が行われました。また、9人制ルール変更に伴う競技運営についての研修があり、最後に国体種目にビーチ種目が加わることに伴い、各都道府県協会との連携を指導されました。



尚、以上の研修会内容については4月22日(土)に県内競技研修会を開催し、県内大会の円滑な運営に努めて参るつもりであります。特に今回は、バレーボール用品メンテナンス講習並びに、9人制ルール変更に伴う研修も兼ねておりますことから、各地区協会はもとより各連盟及び委員会より必ず1名は出席をいただきますようお願い致します。

全国審判委員長研修会開催～平成 28 年度ルール改正報告

【審判委員長 中島俊昌】

3月19日(日)に全国審判委員長研修会が、翌20日(月)には引き続き全国審判講習会が東京都 慶応義塾大学・慶応義塾中等部にて開催され、日本協会審判規則委員会委員長及び規則部・指導部・登録部より報告がありました。特に報告すべき点について報告致します。

公益財団法人日本バレーボール協会審判規則委員会：水谷孝義委員長より下記のお話がありました。審判規則委員会の運営基本方針を5項目決めました。

「選手・指導者を対象に、ルール及びルールの取り扱いについて説明を行い、ルールの正しい理解とともにルール遵守を醸成する。」

これについて、引き続きルールを守るチーム作りの努力を行って頂きたいので、選手及び指導者を対象に指導して頂きたいとのお話でした。

よって、長野県においても県協会主催の審判講習会及び各地区協会における審判講習会を開催致しますが、審判員のみならず選手及び指導者の参加を是非お願い致します。

また、今年度より6・9人制ルールブックに続き、ビーチバレーのルールブックもケースブックと一体となったルールブックに編集されました。よって販売金額が改定されましたことをご了承下さい。

ルール改正点・修正点は下記の通りです。

(6人制) 6人制については、特にありません。

(9人制) 主だった改・修正点のみ報告させていただきます。

- 1 監督制限ラインが新たに設けられ、6人制同様、監督は試合中に『監督制限ラインの後方ではラリー中も立ったままで、あるいは歩きながら指示をしてもよい』ことに改められました。
- 2 監督制限ラインは、チームベンチ側のフリーゾーンで、サイドライン外側から1.5mの位置に、チームベンチの記録席側の端からエンドラインまでの長さでサイドラインに平行に設けることになります(ラインは実線でも点線でもよい)。
- 3 チームの活性化の観点から、チーム構成において交代選手の数『3名以内』から『6名以内』に改められました。よって選手は15名以内の登録が出来る様になりました。

以上です。

その他詳細につきましては、審判講習会時にご説明させていただきますので是非、選手及び指導者の方の参加をお願い致します。

ご希望があれば、各カテゴリーにおいて講習会を開催して頂き、講師派遣は致しますのでご活用下さい。ご希望の方は、審判委員会委員長：中島までご相談下さい。

平成28年度 全国指導普及委員長研修会 報告

【指導普及副委員長 三村公二】

2月25日(土)～26日(日)に大阪府にて開催されたJVA主催の全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議・研修会に参加して参りました。

研修会では、指導者制度やJVA中長期計画について、強化活動報告と発掘育成委員会との連携についてなどの講義がありました。

2017年度は日本体育協会公認スポーツ指導者制度の改定が行われます。2005年の改定から10年が経過し、社会もスポーツ界も大きな変化が見られる中、「新しい時代にふさわしいコーチング」が求められる中での改定となります。スポーツ指導における暴力根絶に向けて、新しいコーチおよびコーチング像が求められる昨今ですが、それを受けて検討プロジェクトが打ち出している基本計画に沿ってこの改定が行われます。新制度では「スタートコーチ」が新設され、コーチ1(現・指導員)、コーチ2(現・上級指導員)、コーチ3(現・コーチ)、コーチ4(現・上級コーチ)という名称に変更となり、カリキュラムも変更されます。詳細は4月に行われる県の指導普及委員会で伝達させていただきますが、現在の資格も継続されていきますので、資格の更新を忘れないよう宜しくお願い致します。

また、サッカーにおけるジュニア養成システムに学ぶということで、サッカー界のシステムについて講義がありました。キッズからユース、トップチームまで一貫した指導ができるようなコンセプトの共有のため努力しているということでした。「グラスルーツなくして代表の強化なし」、バレーボールについても同様であると感じます。指導普及委員会や発掘育成委員会でそのシステムの確立を目指し、更なる強化に進んでいくことが確認されました。

2020年東京オリンピックやその後のバレーボール界が一丸となって一つの目標に進んでいくことが必要であり、我々の課題であると強く感じた研修会でした。バレーボール2015宣言「JVAはバレーボールの“つなぐ力”を世界に育みます」のために、指導普及委員会の役割を果たせるようにしていきたいと感じた2日間でした。



3月 試合結果

- ☆ 第1回ソフトバレー・フリーフェスティバル

<http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.3.3soft.pdf>

- ☆ 第11回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.3.5maicup_syogakusei.pdf

- ☆ モルテン杯 第11回北信越クラブ9人制選手権大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.3.11molten_club9.pdf

- ☆ 菅公学生服杯 第15回北信越中学新人バレーボール優勝大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.3.18kanko_tyugaku_hokusinetsu.pdf

- ☆ 長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会 (U12)

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.3.20_13tiku_u12.pdf

4月 スケジュール

1. 4/7(金)	全日本9人制クラブカップ女子実行委員会及び開催地合同連絡会議	(大阪府)
2. 4/8(土)	指導普及委員会・研修会	(安曇野市)
3. 4/8(土)～9(日)	北信越連盟A級審判員講習会兼国体大会役員養成事業審判研修会	(福井県)
4. 4/15(土)～16(日)	北信越バレーボール連盟各県理事長(専務理事)委員長会議	(富山県)
5. 4/16(日)	審判委員会・研修会	(未定)
6. 4/22(土)	競技委員会・研修会	(安曇野市)
7. 4/23(日)	第67回中部日本6人制総合男女選手権大会県予選会(高校の部)	(安曇野市)
8. 4/26(水)	(公財)長野県体育協会加盟団体代表者会議&スポーツ懇談会	(長野市)